



開物成務

令和元年 9月 2日(月)発行

校長 津田 将美

ひと

独りでも 行動できる すてきさん

始業式の朝、早めに家を出て開成町に入ると黄色いベストを着た地域の人をたくさん見かけました。まだ7時前だというのに、多くの方が子どもたちの見守りに出てくださいっていました。感謝の気持ちと共に、いよいよ始まるんだという思いを新たにしました。

学校に到着後、子どもたちがどんな表情で登校してくるのかということに気がしながら通学路を回りましたが、笑顔と共にいつも通りの元気なあいさつをしていると、

「学校が始まったんだな…」

という実感が更に強くなりました。

多くの地域の方に見守られながら、開成小学校の2学期がスタートしました。



始業式では、8月9日に行われた長崎の平和祈念式典で被爆者代表として「平和への誓い」を読み上げた山脇佳朗さん(85)の話をしました。

山脇さんは、爆心地から2.2kmで被爆されたそうです。お父さんが爆心地近くで働いていたため、兄弟3人で捜し回って、勤務先の工場で爆死していたお父さんを発見します。遺体を埋葬のため燃やすのに木片を兄弟で力を合わせてかき集めたそうです。

子どもたちが自分の肉親を埋葬するために、このような状況に追い込まれることは、想像を絶します。山脇さんいわく、このような思いをした子どもたちは数多くいたそうです。

3人の兄弟は、焼かれていく父を見るに耐えかね、一度家にもどります。

翌日父のもとを訪れると、火力が足りずに焼け残っている父を目にします。ここからの話は悲惨過ぎて子どもたちには話すことができませんでした。結局3人は、父の遺骨をどうしても持ち帰ることができずに、家に逃げ帰ったそうです。このことが、いつまでも山脇さんの心の傷として残ります。

戦争体験は、実際に目の当たりにした人たちにとっては、本当に悲惨でむごいものです。できれば人に語りたくない、思い出すのも心が張り裂けるような負の体験です。山脇さんもどうしても自分のこの体験を口に出すことができませんでした。が、勇気を出して平和のため、核廃絶のために声に出している人々を知ること、いつしか自分の心も変わっていきます。

自分の心の中と向き合い、語り合い、苦しみながら山脇さんが自分自身で出した結論が、「被爆体験を語る」ということだったのです。



「本当に大切なことは、自分独りでも 行動しなくてははいけない。」

これが、私が子どもたちに伝えたかったことです。大切なことこそ、山脇さんのように独りで決断しなくてはならないものです。子どもたちには、つらくても、苦しくても、自分自身の判断で勇気を持って行動できる「すてきさん」になってほしいと思います。

「けんかをしたら、勇気を持って『ごめんね』って謝れますか？」

「みなさんは、誰かがいじめられていたら、独りでも止めることができますか？」

「誰かが悪口を言っていたら、『やめな』って言うってくれる友だちはいますか？」

最後に子どもたちに問いかけました。一人一人、受け止め方はそれぞれだったと思います。でも、みんな真剣な表情で聞いてくれました。今後も、伝え続けていこうと思います。

表彰されました！

1学期に、職員室前廊下の正面に、表彰状、表彰盾が追加されました。ひとつはPTA広報の表彰、もうひとつは自転車の安全な乗り方教室の表彰です。

PTA広報は、昨年度郡で優秀賞をいただき、それが、県にあがりましました。そして、県では「奨励賞」ということで、立派な賞状と盾をいただきました。テーマ性を持った広報活動が高く評価されたようです。

自転車の安全な乗り方教室は、昨年度地区で優勝したチームが、今年度県大会に進みました。

そこで見事優勝し、全国大会の切符を手に入れました。

県の代表として参加した8月7日の全国大会（東京ビッグサイト）でも健闘し、28位という結果をのこしました。学校の代表、町の代表、そして県の代表として本当に態度もすばらしく多くの方からお褒めの言葉をいただきました。長い間の練習は本当に大変だったと思いますが、開成小学校の代表として多くの場面ですてきさんの姿を発揮してくれたようです。

その伝統は、今年度も5年生に引き継がれ、先日行われた足柄上地区自転車の安全な乗り方大会では、参加15チーム中、見事2位、6位という立派な成績で、その成果を8月29日（木）に全校に披露しました。



PTA広報、県の奨励賞



自転車の安全な乗り方教室
県優勝は、盾と賞状3枚！



8月22日 足柄上地区自転車の安全な乗り方大会

見つけたよ！すてきさん

始業式の日の中休み、たくさんの1年生が夏休みのことを話しに、校長室にやってきました。

口々にされる報告が校長室を飛び交っていたので、交通整理をしました。

「じゃ、順番に話そうね、こっちから。」

「ぼくはね、ディズニーシーに行ったんだ。」

「海へ行って、楽しかったよ。」

「家族でレストランに行って、おいしかった。」
笑顔での報告が続きます。

その最中に一人の子が気付きました。

「あっ、7の針だ！教室に戻らなくっちゃ！！」
その声を合図に、1年生は、

「失礼しました！」

の挨拶と共に、全員水が引くように去っていきました。残されたのは、報告を途中まで聞いていた私のみ…。

ポツンと一人残された校長室で、夏休みをはさんでも、しっかりと生活リズムが身についている1年生を頼もしく感じました。



夏季休業中の職員研修

7月24日(水) 不祥事防止研修

不祥事防止に向けた研修会を開きました。

7月26日(金) 不審者対応訓練

不審者に対応する学校全体の動きを、ワークも含めて実践的に学びました。

8月20日(火) 学校体育指導者研修

体育学習における具体的な指導方法を実技を中心に学びました。

8月20日(火) 人権研修会

神奈川県教育委員会より講師をお招きし、インクルーシブ教育を中心に、今ある開成小学校の良さを大切にしながら人権意識を高めていくことを学びました。

8月27日(火) 阿波踊り研修

昨年度PTA会長の井上さんをお招きし、連の子どもたちを講師に、教職員が生徒になって楽しく踊るための指導を受けました。



研修の成果を、2学期以降の教育活動に生かしていきたいと思います。